

2025 年度 事業報告書

I 概 況

2025 年度の日本経済は、物価上昇や人手不足の深刻化、海外経済の減速懸念などの課題を抱えつつも、大手企業収益の底堅さや賃上げの継続を背景に、各種経済指標は緩やかな回復基調で推移した。日銀は金融政策の正常化を段階的に進め、金利のある経済への移行が意識される中、為替は引き続き変動性の高い状況が続いた。インバウンド需要は堅調に推移し、個人消費も持ち直しの動きが見られたが、実質賃金の伸び悩みや生活コストの上昇が重しとなり、景気の先行きには不透明感が残った。

国内政治においては、高市政権が発足し、経済安全保障や成長戦略の再構築が掲げられたものの、物価対策や財政運営を巡る議論が続く、政権運営の安定性が注視される状況となった。海外では、米国トランプ大統領の政策運営が国際秩序や通商環境に影響を及ぼし、中国経済の減速や地政学リスクの高まりと相まって、世界経済の不確実性は一層高まった。

中小・小規模事業者にとっては、生成 AI をはじめとするデジタル技術の進展による事業環境の変化への対応、人件費や原材料費の上昇と価格転嫁の難しさ、人材確保の困難さや人材流出、後継者不足の深刻化、脱炭素・環境対応への要請など、多岐にわたる課題への対応が引き続き求められている。

＊

東京グラフィックスは原田大輔会長体制 2 期 2 年目を終えた。上記の課題を解決すべく、引き続いて事業を推進してきた。各事業のポイントを挙げる。

- ①東京都中小企業団体中央会主催「組合まつり in TOKYO」に出展して、一般都民や異業種・他業界に対して、個人情報保護の普及啓発、グラフィックサービス技術の提供及び啓発、ならびに業界の PR を行った。
- ②認定個人情報保護団体の活動では、漏えい事故対応、苦情受付の他、情報セキュリティの強化・改正個人情報保護法対応・プライバシーマーク審査基準改訂に関する啓発等を行った。
- ③教育委員会・技術委員会は、会員企業および一般都民を対象に、各種セミナーや「ビジネスマッチング・サロン」のほか、「紙断裁機従事者のための安全特別教育講習」などを実施した。
- ④公害防止、資源リサイクルについては、環境に配慮した印刷の総合認定制度「グリーンプリンティンク（GP）認定制度」について、機関誌や会員向けメールニュースで紹介したほか、東京都 VOC 対策事業や PRTR 制度等を会員向けメールニュースで紹介した。
- ⑤（公財）東京しごと財団が実施する令和 7 年度「業界別人材確保強化事業（カスタマイズ支援）」の支援団体に選定され、令和 8 年度末に向けて同事業を実施する。

さらに、「青年部 FACE」ほか、有志の活動・活動を支援し、事業・業界の活性化に取り組んだ。

会員数は、今期は入会 20 社・退会 15 社で 2026 年 3 月末現在 249 社となり、2019 年度以来の増加となったが、一層の支部の活性化・退会防止・加入促進のための取り組み強化が求められている。

なお全国団体（一社）日本グラフィックサービス工業会の第 67 回ジャグラ文化典東京大会（2025 年 6 月 21 日）の主管として、大会運営・実施を支援した。

事務局機能については、個人情報保護活動に加え、会員ニーズに応えるために、情報提供の充実、委員会活動の充実に努め、会員サービスに引き続き努力した。

【2025 年度 委員会体制】

- 個人情報保護委員会＝ジャグラと連携
 - ・公益事業検討委員会
- 総務委員会
 - ・会員拡大委員会
- 教育・技術委員会
- 2025 ジャグラ文化典東京大会実行委員会

Ⅱ 事業報告

1. 都民へのグラフィックサービス技術の提供及び啓発行為

① 都民へのグラフィックサービス技術の提供及び啓発行為

(1) 都民向け各種印刷・自費出版等に関する相談・問い合わせ受付業務

都民からの、各種印刷や自費出版等に関連する相談・問い合わせについては事務局で対応した。

(2) 都民向け広報・PR 活動

総務委員会は、東京グラフィックスのホームページおよび機関誌・月刊「東京グラフィックス」にて、都民への印刷技術の普及啓発および情報発信について広く公開した。

ホームページのコンテンツについては、随時、見直し・更新を行っている。

東京都中小企業団体中央会主催「組合まつり in TOKYO」(10 月 29 日(水)～30 日(木)・東京国際フォーラム)に出展し、一般都民等に向けてグラフィックサービス業の紹介を行った。ブースでは会員企業各社の商品・サービスを紹介してグラフィックサービス業の PR を行ったほか、一般来場者・他の出展者からの印刷・グラフィックサービスに関する相談対応、個人情報保護の普及啓発活動を実施した。

また、グラフィックサービス・印刷業は他のあらゆる出展者が潜在顧客であることから、他の出展団体(他業種団体・組合)をターゲットにした「B to B」獲得に向けた営業活動も試みた。

文京区の「文京区博覧会一ふんぱく 2025」(11 月 14 日(金)～15 日(土)・文京シビックセンター)の実行委員会に、文京支部(文京地域会員)が参画して運営に携わったほか、ブース出展して文京区民・一般来場者に向けてグラフィックサービス業の紹介を行った。

日本自費出版文化賞(主催:ジャグラ/主管:日本自費出版ネットワーク)の広報に協力した。

2. 個人情報保護の推進及び都民からの苦情・相談事業 [公益認定事業]

① 認定個人情報保護団体の活動

(1) 認定個人情報保護団体としての活動

◎ 事故・苦情報告

都民・会員企業からの個人情報に関連する苦情・相談・問い合わせや、会員企業からの事故報告対応については事務局で行った。

- ・2025 年度 苦情対応：1 件
 - ・2025 年度 個人情報漏えい事故報告：5 件
- 月次で報告を個人情報保護委員会へ月初に提出した。

◎「個人情報保護」の普及・啓発・調査事業

○ 一般都民への普及・啓発

「組合まつり in TOKYO」（10 月 29 日～30 日・東京国際フォーラム）に出展し、一般都民等に向けて、個人情報保護委員会の「個人情報のリスク啓発」「詐欺被害防止」「闇バイト対策」等の資料を配布して、個人情報保護関連の普及・啓発活動を実施した。

○ 機関誌による情報提供

機関誌「月刊東京グラフィックス」誌上「リスクマネジメントと個人情報保護・BCP」にて個人情報保護や情報セキュリティに関する情報提供を行った。

- ・4～6 月号：IPA 情報セキュリティ 10 大脅威 2025（組織編）①～③
- ・7 月号：営業の「秘密管理」再考
- ・8、9 月号：個人情報漏えい事故の対応策（上）、（下）
- ・10 月号：従業員の「情報漏えい対策」
- ・11 月号：マルウェア「ランサムウェア」の脅威と対策
- ・12 月号：セキュリティインシデント対応の基本ステップ
- ・1 月号：安全なウェブサイトの運用管理に向けての 20 ヶ条

機関誌 6 月号にて、（公財）東京都中小企業振興公社の「サイバーセキュリティ対策促進助成金」事業を紹介した。

◎ 個人情報保護委員会

- ・東京グラフィックス個人情報保護委員会（鈴木将人委員長）を計 8 回開催した。
第 1 回：5 月 1 日、第 2 回：7 月 9 日、第 3 回：8 月 5 日、第 4 回：9 月 17 日、第 5 回：11 月 5 日、
第 6 回：12 月 17 日、第 7 回 1 月 28 日、第 8 回：3 月 4 日
- ・個人情報保護に関する国際会議（TRUST-DS）に Web 参加した（9 月 22 日）。
- ・個人情報保護委員会 認定個人情報保護団体連絡会に Web 参加した（3 月 26 日）。

(2) プライバシーマークの普及及び審査業務活動

◎ 2025 年度プライバシーマーク申請事業者数

45 社（新規 1 件、更新 44 件、合併 0 件）／更新辞退 4 社

東京グラフィックス単体でのプライバシーマーク付与事業者数は 93 社となった。

(3) その他

◎ 公益事業検討委員会の設置

東京グラフィックスの公益目的事業（個人情報保護）の充実に向け、理事会からの諮問検討の場として公益事業検討委員会を設けた。個人情報保護事業の内容を精査し、事業充実の施策を検討していく。

3. グラフィックサービス業に関する雇用の安定及び人材の育成事業

① 雇用の安定

(1) 人材の確保・育成・定着事業

◎ 令和7年度「業界別人材確保強化事業（カスタマイズ支援）」

（公財）東京しごと財団が実施する令和7年度「業界別人材確保強化事業」の支援団体に選定されたことを受けて同事業に参画、中小印刷・グラフィックサービス業界における人材の確保・育成・定着に関する事業を実施している（同事業は2028年3月まで）。

今期は、キックオフセミナー、個社別支援先の選定・ヒアリング・計画策定を実施した。

個別支援先13社は、令和8年度から採用・定着コンサルティングとデジタル活用等コンサルティング（希望企業のみ）を受ける。

◎ 令和5年度「業界別人材確保オーダーメイド型支援事業」の成果波及

（公財）東京しごと財団が実施した令和5年度「業界別人材確保オーダーメイド型支援事業」の成果を業界内外に波及させるべく、同事業において作成した「人材確保 取り組み事例集」を、会員企業にとどまらず、希望する会員外企業にも配布した。

(2) ライフワーク・バランス推進事業

従業者の就労と生活を両立させる「ライフワーク・バランス」の推進を図るべく、情報提供ならびに普及・啓発活動を行った。

機関誌4月号にて、「働く人のメンタルヘルス」を特集した。

（公財）東京しごと財団が実施した、テレワークトータルサポート助成金、テレワーク定着強化奨励金、ワーケーション勤務導入奨励金、女性の活躍推進助成金、働くパパママ育児応援奨励金、介護休業取得応援奨励金などの支援事業を、会員向けメールニュース等で紹介した。

(3) 都民のグラフィックサービス業への就業支援及び会員企業の新規採用支援

（公財）東京しごと財団が実施した令和5年度「業界別人材確保オーダーメイド型支援事業」で作成した、業界外の若者や求職者を対象にグラフィックサービス業を紹介して、業界への興味喚起と採用促進につなげるPR冊子「グラフィックサービス業界まるわかり本～元祖！ 情報産業のお仕事」を、「組合まつり in TOKYO」（10月29日～30日・東京国際フォーラム）などのイベントにて配布した。

会員企業の新規採用支援に向けて、（公財）東京しごと財団が実施する令和7年度「業界別人材確保強化事業」に参加申請を行い、支援先団体に選定された。（3号事業①（1）参照）

(4) その他

機関誌11月号にて、2025年版「小規模企業白書」から、小規模事業者における「人材の確保・定着」の取組を掲載した。

機関誌2月号にて、東京都産業労働局「東京の産業と雇用就業2025」から「雇用環境（賃金／労働時間）」を掲載した。

② 人材の育成事業

(1) 各種セミナーの企画・運営

教育委員会・技術委員会は、会員企業および一般都民を対象に、各種研修・セミナーを開催した。

◎ 第13回ビジネスマッチング・サロン

- ・4月18日／ニッケイビル 8F 会議室／参加 33 人
- ・プレゼンター：(株)東京技術協会（港支部）、(株)サテライトメディア（城南支部）、
(株)西光美術（三多摩支部）、(株)工藤鉄工所（日本印刷機材協議会）

◎ セミナー『『単品損益管理』実装のススメ ～ ジャグラコンパクト DX×MIS』

- ・8月28日／ニッケイビル 8F 会議室＋Web オンライン・ハイブリッド開催／受講 35 人
- ・共催・講師：ジャグラコンパクト DX 事業・MIS 研究委員会

◎ セミナー「生成AIで仕事のやり方が変わる!? ～生成AIの基本から応用・さまざまな活用例」

- ・9月26日／ニッケイビル 8F 会議室／参加 29 人
- ・講師：秋元駿一氏・寺田一樹氏（青森県生成 AI 活用推進協議会）

※東京都中小企業団体中央会・令和7年度 団体連携型 DX 人材育成推進事業

◎ 第14回ビジネスマッチング・サロン

- ・11月11日／ニッケイビル 8F 会議室／参加 33 人
- ・プレゼンター：日本新聞印刷(株)（港支部）、(有)ねころの一む（文京支部）、
(株)エデュコン（港支部）、プロクマティック社（日本印刷機材協議会）

◎ 開催協力・後援

○ 日本印刷機材協議会「ビジネスの現場で活かす新商材・新サービス プレゼン大会」

- ・8月27日／Web オンライン・ハイブリッド開催
- ・プレゼンター：(株)Ai-R、(株)松本久夫商店、(株)ミューテック、(株)ムサシ

○ 全国 JC メディア印刷シニア部会・研修会「経験こそが、デジタルを最強の武器にする」

- ・10月23日／(株)スコープ＋Web オンライン・ハイブリッド開催
- ・講師：沖本哲哉氏（(株)NTT アド）

(2) 紙断裁機従事者のための安全特別教育講習

教育委員会・技術委員会は、ホリゾン・ジャパン(株)（賛助会員）の協力を得て、紙断裁機従事者のための安全特別教育講習を実施した。従業者の安全を守り労働災害の防止を図ることを目的に、事業者は紙断裁機を扱う全ての従業者に、事業者の責任において厚生労働大臣が定めた「安全衛生特別教育規定」に則った「安全特別教育」を受けさせる義務がある。（座学 8 時間、実習 2 時間／修了 16 人）

- ・座学：2月3日・4日／Web オンライン
- ・実習：2月5日／ホリゾン東京支社ショールーム（江戸川区松江）
- ・講師：ホリゾン・ジャパン(株)（賛助会員）

(3) その他

◎ 営業担当者育成事業

機関誌にて、営業担当者育成向けのコラム「こころときめく営業のための道しるべ」を連載した。

・著者：田中信一氏（㈱ビジネスコミュニケーション研究所）

4. グラフィックサービス業に関する公害防止、資源リサイクル等の調査研究事業

① 公害防止、資源リサイクル等の調査研究事業

(1) 「グリーンプリンティング」の啓発・推進

（一社）日本印刷産業連合会（日印産連）による、環境に配慮した印刷の総合認定制度「グリーンプリンティング（GP）認定制度」や、グリーン購入法に基づく日印産連・オフセット印刷ガイドラインについて、会員向けメールニュース・機関誌・ホームページ等で紹介した。

(2) VOC 対策の周知・啓発

東京都の VOC 対策アドバイザー派遣制度や夏季の VOC 対策等について、会員向けメールニュース等で周知したほか、東京都の補助金事業等を紹介した。

(3) その他

機関誌 6 月号にて、（公財）東京都中小企業振興公社の「LED 照明等節電促進助成事業」を紹介した。

PRTR 制度について、会員向けメールニュース等で紹介した。

5. その他、この法人の目的を達成するために必要な関連事業

① BCP 関連事業

機関誌 4 月号にて、（公財）東京都中小企業振興公社の「BCP 実践促進助成金制度」を紹介した。

機関誌 9 月号にて、中小企業庁「中小企業 BCP 策定運用指針」や（公財）東京都中小企業振興公社・BCP 策定支援事業について紹介した。

機関誌 2・3 月号（～2024 月号）にて、内閣府・防災担当「事業継続ガイドライン」を紹介し、BCM（事業継続マネジメント）に関する理解・実践の啓発を行った。

教育・技術委員会は 2 月 6 日、防災体験学習として江東区有明の東京臨海広域防災公園の「そなエリア東京」の見学会を開催した。参加 15 人。

② 印刷業における「DX」に関する研究

◎ セミナー『『単品損益管理』実装のススメ ～ ジャグラコンパクト DX×MIS』

◎ セミナー「生成 AI で仕事のやり方が変わる!? ～生成 AI の基本から応用・さまざまな活用例」

（いずれも 3 号事業 ② (1) 参照）

機関誌 9 月号にて、令和 7 年版「情報通信白書」から「AI の爆発的な進展の動向」を、10 月号にて、

同白書から「デジタルテクノロジーの課題と現状の対応策」を掲載した。

③ ビジネス開発事業

(1) グラフィックサービスの販路・市場開拓の研究

◎ ビジネスマッチング・サロン

教育・技術委員会は、会員企業・関連企業等によるプレゼンテーション形式の「ビジネスマッチング・サロン」を2回開催し、会員同士のコラボレーションによる販路拡大・新市場開拓の支援を行った。

(3号事業 ② (1) 参照)

◎ 「組合まつり」を契機とした販路・市場開拓

「組合まつり in TOKYO」(10月29日～30日・東京国際フォーラム)に出展し、他の出展団体(他業種団体・組合)に向けてグラフィックサービス業の紹介と会員企業各社の商品・サービスをPRした。グラフィックサービス・印刷業は他のあらゆる業種が潜在顧客であることから、他業種団体・組合をターゲットにした「B to B」獲得に向けたPRを試みた。

(2) その他

会員企業の店頭に掲示できる「年賀状印刷承り」ポスターを作成し、会員企業に配布した。またジャグラが作成した年賀状ビジネスツール(年賀状デザインデータ・見本帳等)の活用を呼びかけた。

機関誌9月号にて、2026年年賀はがきの情報を提供した。

④ 事業承継問題に関する研究

機関誌4月号にて、(公財)東京都中小企業振興公社の「事業承継を契機とした成長支援事業」「事業承継支援助成金」について紹介した。

⑤ 組織の維持・運営と強化

(1) 会員向け広報活動

情報発信の一環としてメールニュースやホームページを活用し、会員内外に向けて情報を提供した。また会員向け広報を強化するため、広報チームを総務委員会内に設け、ジャグラアプリの登録促進や、SNSを活用した情報発信を行った。

会員企業の経営力を高めるため、行政の補助事業・助成事業等について、また、会員企業のコンプライアンスを高めるため、行政からの各種情報提供や法令改正等について、会員向けメールニュースや東京グラフィックス・ホームページ、機関誌で情報提供を行った。

(2) 加入促進・退会防止

今期は入会20社・退会15社で2026年3月末現在249社となり、2019年度以来の増加となった。しかし会員数の漸減傾向は続く状況にあると考えられることから、一層の支部の活性化・退会防止・加入促進のための取り組み強化が求められている。

組織拡大・加入促進については、青年部FACEの活動や、プライバシーマーク事業により、地道に新規入会の獲得を続けている。総務委員会は、前年度に作成した加入促進用パンフレットを未入会の同業者・関連業者に配布するなどしたほか、各支部や青年部の勧誘活動等をサポートした。

また、ジャグラと連携する形で総務委員会の所管で「会員拡大委員会」を設置し、具体的な会員拡大の方策を検討していくこととした。

(3) 2024 年度定時総会

公益社団法人東京グラフィックサービス工業会の 2024 年度定時総会を 5 月 28 日(水)、日本教育会館において開催した。総会出席者は 47 人（委任状 108 通）。

(4) 賛助会員懇談会・新春賀詞交歓会の開催

◎ 賛助会員懇談会

賛助会員懇談会を 10 月 8 日（水）、喜山倶楽部にて開催した。賛助会員・役員・総務委員 65 人が参加した。賛助会員に対して、東京グラフィックスの事業・取組や業界動向等について報告・説明した。

◎ 2026 新春賀詞交歓会

新春賀詞交歓会を 2026 年 1 月 19 日（月）、東天紅上野本店にて開催した。参加者は来賓・会員・賛助会員ら 195 人。東京都・小池百合子知事からのビデオメッセージが上映された。

(5) 青年部 F A C E の活動

東京グラフィックス青年部 FACE（西谷毅会長）は月 1 回の定例会（3、8、12 月を除く）を軸に活動した。2025 年度は 4 月の総会で西谷毅氏を会長に再任、西谷体制 2 年目として事業を実施した。

定例会では、毎回ワークショップを設け研鑽に励んだ。定例会には毎回 40 名前後の参加者があり、通常の定例会でも参加者が最大で 50 名に迫るなど、昨年に続き FACE 設立以来もっとも多く参加者があった 1 年となった。

特に、11 月は『FACE ウェルカムデイ』と題し、FACE の理解者を増やすための機会として大規模な定例会を㈱大塚商会（賛助会員）の大会議室で開催。定例会から名刺交換会、ワークショップまで合計で 100 名近い参加者が訪れた。

定例会を開催しない月にもレクリエーションの一環として納涼会、忘年会等を適宜開催し、メンバー相互の定期交流の機会を多く設けた。

また、今期はジャグラ文化典の開催地が東京だったことから、FACE も運営に参加し、懇親会部会を担当。大懇親会の事前準備からアトラクションの企画、二次会の会場選定まで、総会後の文化典を最後まで盛り上げる大役を果たした。

他団体青年部との連携も積極的に行い、8 月には東京都正札シール印刷協同組合青年部と合同で納涼会を開いた。毎年恒例となっている、東京都製本工業組合の青年部である製本二世連合会との合同定例会は 1 月 22 日に嘉ノ雅茗溪館で開催した。

関連団体との連携も活発に行い、ジャグラ青年部 SPACE-21、印刷産業青年連絡協議会、東京都中小企業団体青年部協議会には FACE から多くの役員を派遣し、各事業に参画している。

このほか、2027 年に青年部が FACE の前身である次世代の会から数えて結成 40 周年を迎えることから、『東グラ青年部 40 周年目前 歴代会長座談会』と銘打った座談会を、現会長及び第 5～7 代会長の 4 名を招待し開催。FACE の魅力や各人の思い出、そして青年部のこれからについて存分に語り合ってもらい、機関誌・月刊東京グラフィックス 2026 年 1 月号に採録した。

(6) その他

◎ 「取適法」の周知・啓発

2026 年 1 月から「下請法」（下請代金支払遅延等防止法）が「取適法」（中小受託取引適正化法）に改正・施行されたことを受け、機関誌 12 月号にて、「取適法」の確認ポイントについて特集し、同法の周知・啓発を行った。

◎ 会員ステッカー等掲示物の作成・配布

総務委員会は、会員企業の店頭等に掲示できる「2025 年度会員」ステッカーをはじめ、「年賀状印刷承り」「謹賀新年」ポスターを作成し、会員企業に配布した。

◎ 令和 8 年度東京都予算編成に対する要望提出

東京グラフィックスは、令和 8 年度東京都予算編成における団体としての要望書を、小池百合子都知事以下、都議会各派に提出した。都民ファーストの会東京都議団（9 月 1 日）、東京都議会立憲民主党（9 月 1 日）、都議会公明党（8 月 29 日）とは、ヒアリングを実施して直接、業界の要望を説明した。

また、東京グラフィックスと、東京都印刷工業組合、東京都製本工業組合、東京グラフィックコミュニケーションズ工業組合の四団体は、小池百合子東京都知事宛てに令和 8 年度東京都予算編成における印刷業界団体としての要望書を提出した。12 月 2 日、都知事との面談・ヒアリングが実施され、小池都知事に直接、業界の要望を説明した。

◎ ジャグラ文化典東京大会

全国団体・ジャグラの創立 70 周年記念・第 67 回ジャグラ文化典東京大会（2025 年 6 月 21 日／浅草ビューホテル／参加 440 名）の主管として、大会運営・実施を支援した（実行委員会は、地協・社団・共済会・支部で組織）。

特に、「文化典式典」については、東京都の後援を得て実施した。

さらに同式典で表彰式が挙行された「令和 6 年度ジャグラ作品展」において、東京グラフィックス会員企業の応募作品について、最優秀賞には「東京都知事賞」（着物手帳 2025／㈱アイト）が、次席には「東京都産業労働局長賞」（富士フイルム・フォトコレクションⅡ 世界の 20 世紀写真「人を撮る」／望月印刷㈱）が授与された。

以上